

フラウンホーファーIPA（生産技術・オートメーション研究所）と協力に関する協定書の締結

（2015年3月16日 旧 大阪市立工業研究所ホームページに掲載）



大阪市立工業研究所は平成 27 年 3 月 13 日、ドイツ連邦共和国フラウンホーファーIPA（生産技術・オートメーション研究所）と協力に関する協定を締結、市工研にて同日開催された第 10 回グリーンナノフォーラムにおいて協定書の交換を行いました。

フラウンホーファーIPA は欧州最大の研究機関フラウンホーファー研究機構の一部門で、大阪市は平成 22 年 7 月、協力に関する協定を締結しています。市工研はこれを受け、フラウンホーファーIPA と国際シンポジウムやグリーンナノフォーラムにおける 2 度にわたる特別講演を実施、協力関係を築いてきました。

今回の協定はこれらの従来より行ってきた活動をさらに一歩進め、新たな連携をもとにイノベティブな技術の創生、さらに大阪地域を中心に企業への技術移転も目指すものです。市工研とフラウンホーファーIPA はいずれもナノテクノロジー、特に今回の協定書の対象であるプリンテッド・エレクトロニクスの技術領域において世界に先駆けた材料、プロセス、各種応用技術を有しています。プリンテッド・エレクトロニクスは印刷技術を利用して電子・情報、航空・宇宙、バイオ・メディカル、環境分野など次世代市場におけるキーデバイス用の応用領域として高い潜在力となっています。

今回の協定により、両者が協力、連携し、さらに企業も含めた研究開発、実用化を進めることで、新たな研究開発の枠組みを形成、先端研究開発の加速化や周辺分野の人材育成、ひいては成長市場における大阪地域を中心とする地域産業の振興、関連分野の中小企業の海外展開への支援に繋げていくことが期待されます。